

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立東光小学校（徳島県）【指定校】

## 【取組内容①】 個々にあった文章づくり－「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実－

## 3年生：国語科「東光食べ物のひみつの本をつくろう」～「すがたをかえる大豆」を読んで～

本校では、自力解決する力の育成をめざして学習している。学習課題に対する自分の考えや思いをまとめ、クラスの友達に伝え合うことにより、個別の学びを深め合う一体的な充実を図る。

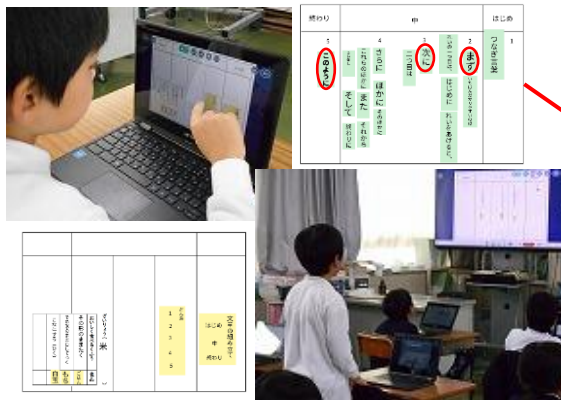
## ねらい

- 学習課題の自力解決を促すために、学習支援ソフトを活用し、個々の興味・関心・意欲を引き出しながら、自分の意見をまとめ、考え方を深めることができるようにする。
- 「協働的な学び」の場で、他の児童の意見を理解することを通じて視野を広げ、表現方法が豊かになり、個別の学びを充実できるようにする。

「個別最適な学び」  
自分の興味・関心・友達  
に知らせたいことから、  
食べ物を選択する。



「協働的な学び」  
分かりやすい文章の組み立てや書き方を  
話し合い、クラスで共有する。



「個別最適な学び」  
協働的な学びで分かったことを  
生かして、自分の文章の組み立て  
を作成し、食べ物のひみつの文章  
を書く。



「協働的な学び」  
自分の作った食  
べ物のひみつの  
説明文を読み合い、  
感想を伝え合う。

クラスみんなの  
説明文を一冊の  
本にまとめる。

## 考察

- 自分の考えを整理してまとめることで、分かりやすく伝える力を育成することができた。
- 自分の考えや思いを出し合い、協働的に学ぶことで、他者の異なる意見や考えを知り、自分の考えや思いが深まったり広がったりした。その結果、初めて書く説明文を作成する際のサポートになったり、友達の文を参考にしたりすることができた。
- 令和時代の文房具として、GIGA環境を高い頻度で活用したが、3年生としての書く力を身に付けさせるためには、書く時間とのバランスが重要だと考える。